



吹田市立山田第三小学校

# 学校だより 夏休み号

令和6年(2024年)7月19日発行

TEL 06-6877-5701 FAX 06-6877-5708

URL: <http://www.suita.ed.jp/gak/es/22-yamada3/>



## 楽しい夏休みをお過ごし下さい

本日、終業式を終え、明日から37日間の夏休みに入ります。1学期の頑張りを「あゆみ」とともに持って帰ります。出来たこと、成長したところがたくさんあります。具体的な言葉で、いっぱいほめてください。ほめられること、認められることは、主体的に自分から頑張ろうという気持ちを育てます。

4月当初は新しい友達や担任に戸惑い、期待や不安で、気持ちが安定していなかった児童も日々の教育活動の中で次第に慣れ、自分らしく学校生活が送れるようになってきました。

同時に、友達同士のトラブルも耳にするようになりました。一般的に大人は友達同士でもめないようにと考えがちですが、児童にとってはとても大切な学びと成長の機会なのです。

社会の縮図と呼ばれる学校で人との関わりから学ぶことは、今後、社会で生きていく中で何事にも代えがたい経験となります。自分にカスタマイズされたSNS等から身に着けることはできません。心の理解は頭の知識とは違うからです。

子ども同士の数年に渡る関係もあり、「うちの子もされたことあるのに。」と児童の誤りを保護者が受け止め難い場合もあるかと思えます。

しかし、一つ一つの場면을切り分けて考えなくてははいけません。その場面の誤りを過去に転嫁し、かばってしまうと、児童の反省がまやけ、一番大切な心の成長機会を失うことになってしまいます。「あかんことはアカン」と認め、保護者が児童と共に誤りや失敗について考え、改善することが児童の心の最大の成長につながります。その過程で我が子との関係も成熟していきます。

そして、その場として、何度失敗しても、何度もやり直せる学校でありたいと考えています。

SNS等では他人の失言や失敗を誹謗中傷したり、テレビではそれを話題にとりあげたりする風潮が見受けられます。

完璧な人間はいません。誰もが失敗や失言をします。大切なことは、失敗を責めることではなく、失敗や失言を省みて、当事者や人々がより豊かな社会となるよう、考え行動することではないでしょうか。

児童も大人も、誤った時には素直に反省し、謝罪し、当事者同士が不寛容になりすぎず、許し合い共に成長できる社会になってほしいと思います。

夏休みにご家庭で思い出となることを多く重ねていただけたらと願っています。どうぞご家庭で安全で楽しい夏休みをお過ごしください。

(学校長)

## あゆみについて



本校のあゆみは、学習の様子を分かりやすく評価するために、「進んで取り組む」や「わかる力」、「考える力」等に項目を分け、単元や領域ごとに整理をしています。

お子さまと一緒にあゆみをご覧ください、得意なところ、伸びたところを褒めたり励ましたりすることで成長につなげてください。

## 夏休みのプール学習

下記の日程で、夏休みのプール学習を予定しています。

7/29 2年、5年、6年 | 8/1 1年、3年、4年

7/30 1年、3年、4年 | 8/2 2年、5年、6年

7/31 2年、5年、6年 | 8/5 1年、3年、4年

雨天や高温により中止する場合はさくら連絡網でお知らせします。

## 夏休み作品展のお知らせとお願い

**保護者参観日時** 8月27日(火) 15:30~17:00  
28日(水) 14:00~17:00

参観の際、保護者の皆さまは来校証とスリッパをご持参ください。シートの上には乗らないようにお願いします。また、小さなお子様をお連れの場合は目を離さないようにしてください。

## 《運動会》児童用簡易テント設置ボランティア

児童の安全確保・熱中症予防の為、PTA及び50周年行事委員会から寄贈いただいた簡易テントを、児童席用に設置する予定です。

たくさんのテントがあるため、前日準備の10月11日(金)15時30分頃より、保護者の皆様のお力をお借りして設置したいと考えています。ご協力をお願いします。

## 地域行事のお知らせ

### ◎夏休みラジオ体操の中止(山三地区体育振興会主催)

例年、夏休み初めに開催していますが、山三地区体育振興会から、今年は諸事情により中止する旨、連絡がありましたのでお知らせいたします。

### ◎山三夏まつり(山三夏まつり実行委員会主催)

【日時】8月17日(土) 17時から

【場所】山三小 運動場

\*雨天時は8月18日(日)に順延

\*保護者の皆さまもお子さまと一緒にご参加ください。



## 8月の行事



26	月	始業式 引き渡し訓練
27	火	給食開始 夏休み作品展搬入 5.6年二測定
28	水	夏休み作品展 3.4年二測定
29	木	短縮6時間 夏休み作品展 1.2年二測定
30	金	短縮5時間授業 ICT支援員

## 9月の主な行事

2	月	全校朝会 委員会活動⑤
3	火	学力保障の日 ICT支援員
4	水	太陽の広場
5	木	SSW
9	月	児童集会 クラブ活動⑤
10	火	ICT支援員
11	水	太陽の広場
12	木	着衣泳(2、4、5年) SSW
17	火	学力保障の日 ICT支援員
18	水	4時間授業 太陽の広場
19	木	SSW
20	金	4時間授業
24	火	ICT支援員
25	水	太陽の広場
26	木	SSW
28	土	山五小運動会
30	月	補填授業 大阪府スクールカウンセラー



※山五小との円滑な統合に向けて、山五小の保護者が山三小の教育活動を見学できる日を予定しています。

- ・山三小運動会の見学(10月12日)
- ・児童の交流活動の見学(11月中旬頃)
- ・学校保護者説明会(2月10日)

(保護者説明会は山三小の保護者も対象です)

## 教育相談等のお知らせ

吹田市立教育センターでは、子どもや保護者の皆さまの相談事業を行っています。学校生活の他、日常生活のお子さまの様子や子育てについて相談を希望される場合は、下記までお問い合わせください。

◆ 教育相談ダイヤル 06-6170-1579

◆ いじめの心のなやみ相談専用ダイヤル 06-6170-1582

【対象】本人・保護者

【日時】月~金曜日(年末年始・祝日は除く)及び第3日曜日の午前9時から午後5時

# 人権教育月間

6月は、学年ごとに人権教育に取り組む「人権教育月間」でした。

今年も吹田市が主催している「じんけん作品展」に参加するとともに、各学年でビデオを鑑賞して、「人権」について考える時間を持ちました。

各学年の取り組みなどを紹介します。

## 1年生

1年生は「とべないホタル」というお話をみました。

子どもたちの感想を紹介します。

羽がちぢんで生まれたために、飛ぶことのできないホタル周りの仲間が見守り、支える場面では、

- 飛べなくてかわいそうだけど、みんな助けてあげていてやさしかった。
  - つかまえられるとき、飛べないホタルの子を守っていて、とてもすごいと思った。
  - 友だちを助けるってすごく大事だと思った。
  - 歩けない妹のためにホタルをとってきたけど、身代わりになって逃がしてあげていてすごかった。
  - 最後に友達のおかげで飛べたのがよかった。
- と、考えることができました。

## 3年生

小学生の携帯電話の所有率が年々増加し、携帯メールでのコミュニケーションやインターネットの利用など便利になった反面、ネットでのトラブルも増加しています。そこで、「小学生のためのケータイ・ネット教室」～こんなトラブルに気をつけて～の動画を見て学び、

子どもたちは、使い方を気を付けることや、相手のことを考えてこれからも安全に使っていきたいということ振り返っていました。動画を見て

- ルールや時間を守って携帯電話を使おうと思った。
  - スマートフォンのゲームなどにお金をかけ過ぎないようにしようと思った。
  - おうちの人と相談して決めることが大切だと思った。
- などの感想を書くことができました。

## 5年生

5年生は「ありったけの勇氣」のビデオを見ました。

「ありったけの勇氣」では、友だちとの関わりや相手の気持ちを考えることの大切さ、いじめをなくすためにお互いに認め合い、本音で話せる関係づくりなど、いじめに立ち向かう勇氣の大切さを伝えてくれました。

～子どもたちの考えたこと～

- いじめられている子をかばうことは、とても難しいのに、勇氣を出して言えた子はすごいと思いました。
- お父さんがなほこに勇氣を与えて、なほこが勇氣を出してちゃんと言ったところが、えらいと思いました。
- 人数が多いいじめでも、きっかけや勇氣があれば止められるんだと思いました。
- 自分はいじっただけとわかっていても、相手がいやと思ったらいじめということが分かりました。

## 2年生

2年生は「むしむし村の仲間たち」というお話をみました。見た目や、できることがちがう虫のキャラクターたち。それぞれの違いが原因で相手を傷つけたり、自分なんてダメなんだと悩んだりします。お互いの違いを認め、相手の気持ちを思いやることの大切さに気づくお話です。

○子どもたちの感想○

- みんなきょう力していたのが、かっこよかった。
- ナナミがゲンジをたすけてあげて、やさしいなと思った。
- さいごにゲンジの気持ちがかわったのが「よかった」と思いました。
- さいごは、ちゃんとカマジローがあやまったからいいなと思いました。
- カマジローがさいしょいじわるだったけど、さいごはやさしくなったのがいいと思いました。

## 4年生

4年生は「自分や他の人のよさ、大切さを認めること」を日常生活の中で学んでいます。また、人と関わるとき態度や行動にも表れるように心がけています。

今回、「いじめ」を身近な問題として取り上げ、「プレゼント」のビデオを鑑賞しました。子どもたちの感想では、

- 日ごろからちくちく言葉を言ってはだめだと思いました。自分もそうならないように気をつけたいと思いました。
  - 自分とちがう性格でも相手を知ることが大事だと思いました。
  - おたがいの気持ちを分かりあって仲直りをしているところから、相手の気持ちを考えて行動や発言をし、いじめにならないようにしたいです。
- などがありました。どんなことがあっても自分の人権と他人の人権は大切であるということに気づき、絶対に「いじめ」は、やってはいけないと深く考えることができました。

## 6年生

「みんなで跳んだ」～実際にあったお話～

様々な理由で、運動会の大縄がどうしても跳べない子を、どうやって参加してもらおうか。クラスみんなの話し合いと葛藤を考えるDVDを観ました。子どもたちの感想には、

「クラス全員で話し合いたいと先生に言ってみんなで話し合ったのがすごいと思った。」

「一人ひとり意見を持って伝え合っていて自分もそんなふうになれるように頑張りたいと思った。」

「自分の気持ちを素直に言ったり、どうしたら解決できるかを考えたり、いいクラスだなと思いました。」

「その人の気持ちを聞いてみるのが大切だと思った。」

一人ひとりが、人権について考えを持つことができました。また、自分にもできることを考える機会となりました。

